

1 主題名 勇気を出して【善悪の判断、自律、自由と責任】A主として自分自身に関すること

2 ねらいと教材

(1) ねらい りすくんが悩んだ末に、くまくんに、「あやまって。」と言えた時の気持ちを考えることを通して、よいと思ったことは、恐れないで、勇気を持って行おうとする心情を育てる。

(2) 教材名 「ダメ」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

「善悪の判断、自律、自由と責任」の低学年の指導の観点は、「よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。」である。人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことを区別したり、判断したりする力は、幼い時期から身につけていかなければならないものである。「よい」と思うことを主張することは大切なことであるが、低学年の児童は、まだ集団生活に十分に慣れていないために、引っ込み思案になったり物怖じしたりすることも少なくない。そこで、「よい」と思うことを伝える時には勇気が必要であるが、伝えた後には、喜びやすがすがしさを感じることができるよさがあることに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童観

実態調査 (第1学年1組31人) 令和4年9月20日調査

質問項目 「やすみじかんに とてもきれいな おはなをみつけました。さいているばしょは、こうていのちゅうしゃじょうです。おともだちから、『あのはなを つみにいこうよ。』と、さそわれました。あなたはどうしますか。」

回答内容項目	回答内容
正しいことを伝えようとする内容	やめたほうがいいよ(1) 危ないからやめようよ(4) 行きません(7) 行っちゃダメだよ(1) 自分だけで行って(1) だめだよ(1)
誰かに相談しようとする内容	先生に言うよ(2) 先生にとってきてもらおう(1) 先生に相談しよう(1)
正しいことを言わず、相手を受け入れる内容	心の中では行きたくないけれど、「いいよ。」という(1) ついていってあげてもいいよ(2) 人が見ていなそうだからいいよ(1)
善悪の判断で葛藤している内容	危ないけど、見つけにいきたいな(1)
その他の内容	分からない(1)

アンケート調査の結果から、正しいと思ったことを相手に伝えようとする児童が多いことが分かった。一方で、悪いことだと分かっているものの、その場で伝えることはせずに、先生に相談したり、行ってはいけない場所に行こうとしたりする児童もいることが分かった。本学級の児童は、学級の友達や上級生と遊ぶことが好きである。しかし、休み時間が終わると、教師のところにやってきて、「○○さんが、～していました。」などと相談に来ることが多い。アンケート調査の結果からも、正しいことを伝えることの大切さを多くの児童が理解していることが分かるが、実生活に生かすことは、まだ、難しいようである。そこで、本時の学習では、正しいことを言えなかった時、正しいと思ったことを勇気をもって言えた時の心情を考えることで、自分で正しいことを言えた時の喜びやすがすがしさに気付かせ、実生活に生かしていこうとする心情を育てたい。

(3) 教材について

大きなプリンを「くまくん」に食べられてしまった「ぼく」(りすくん)。体の大きい「くまくん」に、何でも譲ってきた「ぼく」だが、「ダメ。」と言えなかったことが悔しくて、決心し、勇気を出して「くまくん」に「あやまって。」と迫るのである。「ダメ。」と言えなかった「ぼく」の姿に共感するようにしながらも、正しいと思うことをしっかり主張する姿を通じて、勇気をもって行う心情を育てたい。

	主な活動と発問 ◎中心発問 ○発問	予想される児童の反応	指導上の主な留意点 △個への対応 ◎評価
気付く	1 アンケート調査の結果を知る。 ○これまで、「いやだな、やめてほしな」と、どんな時に思いましたか。	・順番を抜かされた時。 ・いじわるをされた時。 ・嫌なことを言われた時。 ・仲間はずれにされた時。 ・失敗を笑われた時。	・アンケート調査の結果を提示する際には、個人が特定されないように配慮する。 ・アンケート調査の結果を知ること、ねらいとする道徳的価値の自覚に向けて動機付けを図る。
深める	2 教材を読んで話し合う。 ○布団の中でりすくんは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ①自分の考えをもつ。 ②全体で話し合う。 ◎「プリンたべて、ごめん。」と「くまくん」が謝ってくれたとき、「ぼく」はどんなきもちだっただろう。 ○困っていた「りすくん」が、「くまくん」と仲良くするために大切なことは何だったと思いますか。	【嫌だったことを伝えよう】 ・このままだったら、また何かたべられてしまう。 ・大好きなプリンだったから。 ・気持ちが、モヤモヤするから。 【言えないな】 ・くまくんとけんかになるかもしれない。 ・今まで言わなかったから。 ・くまくんにやりかえされるかもしれない。 【迷うな】 ・くまくんと、仲が悪くなってしまうかもしれない。 ・くまくんが怖い。 ・謝ってくれて、うれしいな。 ・もっと早く言えばよかったな。 ・すっきりした。 ・勇気を出してよかった。 ・勇気を出すこと。 ・がまんをしないこと。 ・「ダメ。」って言うこと。	・発問をする前に、登場人物とあらすじをおさえるようにする。 ・タブレットのポジショニング機能を使って、考えを対比させ自分と同じ考えや、異なる考えがあることに気付くことができるようにする。 △立場を決めることが難しい児童に対しては、個別に支援し考えを引き出すことができるようにする。 ・全体で話し合った後、考えが変わった児童に対してポジショニングを動かす時間を設けるようにする。 ・動作化をすることで、りすくんが正しいと思うことを勇気をもって伝えられた時の気持ちを、自分事として考えることができるようにする。
広げる	3 これからの自分について考える。 ○りすくんに手紙を書きましょう。 「りすくん」のすごいとおもったところや、これからじぶんがしたいことをかきましょう。 4 教師の説話を聞く。	・くまくんに、「あやまって。」と言ってすごかったね。 ・勇気を出して言えてよかったね。 ・「ダメ。」って、勇気をもって言いたい。	◎自分がよいと思ったことを伝えるよさに気付けたか。 【発言・ワークシート】 ・「これからじぶんがしたいこと」という視点を提示して、これからの自分について考えることができるようにする。 ・教師の説話を聞き、余韻をもって終われるようにする。